

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 2019 年 6 月 29 日～2019 年 11 月 23 日

活動名	水ケーション～森と水の授業～	
活動団体名	一社 森と未来 株式会社スポーツボックス	
活動目的	森と水の豊かな自然環境が未来に続くよう、森と水の大切さを広く普及していきます。 そのために未来を担う子どもたちに、森と水の役割、大切さを伝え、自然に対する感謝の気持ちを育む水ケーションを行います ＜水ケーションの役割＞ 水ケーションを通じて、森と水に対する感謝の気持ちを育てます。 限りある資源を大切に、未来へ繋ぐための行動へ導きます。 森と水のある暮らし、地域を誇りに思う気持ちを育てます	
活動内容	＜森の授業＞ 水が生まれる森の仕組み役割を学び、生きていく上で森は欠かすことのできない存在であることを伝えます。森があるから美味しいお水を飲むことができ、川で遊び、プールで泳ぐことができる！森の授業では、知識と合わせて、実際に五感を使い森を感じながら、森の役割や大切さを学び、感謝の気持ちを育てます。 ＜水の授業＞ 森の授業で学んだ水の大切さを、水泳を通じて考えます。オリンピックで世界のプールを見てきた萩原が実体験をもとに水の大切さを伝えます。 水を育む森があるからこそ美しい水が生まれる！ 実際にプールや川に入り、水に触れ、心身の健康作りをしながら、水の存在に感謝する授業です。	
活動写真	 	
写真説明	五感を使った森の授業。	森（川に入り）水の大切さを伝える

活動効果	高知県須崎市様 開催した須崎市の小学校では、新莊川の清流を守る活動も行っており、森と水の大切さを専門家からお聞きすることができ大変良かったです。また、プールに関しても普段接することのないトップアスリートからの指導を受け、生徒のみならず先生も良い刺激を受けました。 福島県郡山市湖南町様 開催後の水泳の授業でも、オリンピック選手への憧れもあって、きれいなフォームで泳ごうと意識するようになりました。また、身近にある自然について、新たな目線で接するようになり、樹種などにも興味を持つようになりました。 公益社団法人和歌山県体育協会様 年をとるにつれ、『感謝』『思いやり』という意味の重さ感じますが、「水ケーショ」の経験は、子ども達の競技力向上だけでなく、人間形成に通じる貴重な時間だったと思います
今後の展望	あらためて「水」を感じ、「感謝」の気持ちを共有したいと考えています。そして、100年先も素晴らしい環境で泳げる幸せを次世代に残したい。「水」「私たち」「未来」をつなぐことで、新たなアクションを一緒に考えていきたいです。 わたしたちの暮らしは、自然から離れつつあります。しかし、昔から今も変わらないことは人も自然の一部であり自然のリズムで生きているということです。欲しいモノは簡単に手に入り便利な時代に生きていると、新鮮な空気を吸い、美味しいお水を飲めることが、どれほど有難いことか、わかりにくくなってしまう。今ある日本の自然は当たり前にある訳ではなく、これからわたしたちが守り、未来に繋いでいく必要があります。感謝の気持ちとともに、未来にどのようにつないでいくのかを一緒に考えていきたいと考えています。